



中国山西省大同で25年間緑化協力をつづけ、新しく植える場所がなくなってしまったGENが、お隣の河北省張家口市蔚県で見たのは、「まだまだ植えられるやん！」という黄土丘陵と荒地でした。2019年春の植樹予定地は、代王城鎮。中国の歴史に関心がある方は、「代国（春秋）」について下調べしていくと感慨深いものがあるかも。

植樹以外にも、小学校での交流や、明・清代の古い城壁が残る街訪問など盛りだくさんの旅です。ちょっと昔の中国の面影をのこす、のんびり豊かな蔚県の春を、一緒に楽しみませんか。



中国 緑化協力の旅 緑の地球ネットワーク

2019 春 黄土高原スタディツアー

2019年 4月6日（土）～11日（木）5泊6日

●旅行代金：198,000円（学生割引20,000円）

（国際航空運賃、空港使用料、中国国内の交通費／食費／宿泊費を含みます。旅券取得費用、海外旅行保険、燃油特別付加運賃、個人行動時の費用は含みません。GEN年会費〈一般＝12,000円、学生＝3,000円〉が別途必要です）※全日空利用 ※関西空港発着 ※東京発着、北京合流希望の方はご相談ください。

●定員：30人程度

●最少催行人員：10人

●申込締切：2月22日（金）※締切後の申込みはお問合わせください。

●訪問地：中国河北省張家口市蔚県（北京経由）

●添乗員は同行しません。GENスタッフ1名が関西空港から同行します。

※資料請求は緑の地球ネットワークまで、お名前・郵便番号・ご住所をお知らせください。

※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、事前にご確認の上お申し込みください。



■ツアーの活動内容についてのお問い合わせ・資料請求はこちらへ

認定NPO法人 緑の地球ネットワーク (GEN) E-mail: gen@gen-tree.org URL http://gen-tree.org
TEL. 06-6576-6181 FAX. 06-6576-6182 〒552-0012 大阪市港区市岡1-5-24 小来田ビル303

■ツアー参加申し込みはこちらへ（資料の発送も担当します）

株式会社 マイチケット（エアワールド（株）代理店） 担当：白川
兵庫県知事登録旅行代理店業第142号（旅行業務取扱管理者 山田和生）
TEL：06-4869-3444 FAX：06-4869-5777
〒660-0084 尼崎市武庫川町4丁目27-1
E-MAIL: shirakawa@myticket.jp URL: http://www.myticket.jp



■旅行企画・実施

エアワールド株式会社
観光庁長官登録旅行業第961号
日本旅行業協会（JATA）会員
大阪市中央区内本町2-2-14-207号

【スケジュール】 (変更になることがあります)

4月6日(土)	9時45分	関西空港発 (NH979便。集合は2時間前)							
	12時	北京空港着。バスで張家口市蔚県へむかう。	☒	☒	☒				<蔚県泊>
7日(日)		蔚県博物館、暖泉鎮観光。	☒	☒	☒	☒	☒	☒	<蔚県泊>
8日(月)		代王城鎮で植樹。小学校で交流。	☒	☒	☒	☒	☒	☒	<蔚県泊>
9日(火)		樹木見本園で植樹。蔚州古城見学。	☒	☒	☒	☒	☒	☒	<蔚県泊>
10日(水)		市場、切り絵の村見学。バスで北京へ。	☒	☒	☒	☒	☒	☒	<北京泊>
11日(木)	14時20分	北京空港発 (NH980便)							
	18時20分	関西空港着							

【利用予定ホテル】

蔚県：蔚州飯店または同等クラス

北京：北京21世紀飯店または同等クラス

【食事】 朝食5回、昼食5回、夕食5回

●黄土高原スタディツアーとは

緑の地球ネットワーク (GEN) は、1992年から中国山西省大同の黄土高原で25年間緑化協力をつづけました。大同は黄土高原の東北端、北京の西約300kmに位置し、沙漠化の最前線であり、また、風砂の源でもあります。年間降水量が約400mm、その大半が夏に集中し、表土を押し流して深刻な水土流失を引き起こします。

大同の人たちとともに、25年をかけて5,900ha余りに1,890万本近くの木を植え、さらに、中国が熱心に緑化に取り組んだこともあり、この数年大同では新しく植える場所を見つけるのがむずかしくなってきました。

25年間積み重ねてきた経験が無駄にせず、生かせる場所をさがして、2016年、大同のすぐ東隣の張家口市蔚県で新しく緑化協力をはじめました。蔚県は大同市広靈県に隣接し、気候・土壌の条件は大同とほぼ同じ。この10年ほどで急速に開発がすすんだ大同と違い、歴史を大切にしている、古いものや文化が残った街並み、人びとの暮らしが懐かしさを感じさせます。県城の旧市街に散在する社寺・史跡や、農村部に多くのこる古堡、打樹花など、みどころはたくさんあります。なにより、植樹の余地がたくさん残っているのが嬉しいところです。



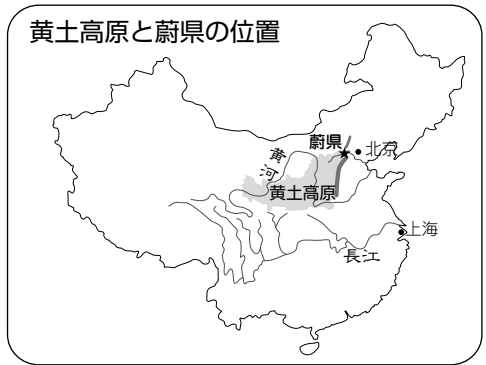
小学校で子どもたちと交流。

さらに蔚県では、ここを流れる壺流河周辺に湿地公園が計画されていて、その一画で“蔚州郷土樹木園”という樹木見本園の建設に協力することになりました。これまでの砂漠化地域の緑化にくわえ、新しいチャレンジになります。鳥類をはじめとする生態系の回復にも大きな役割を果たすことが期待されます。

特に参加資格はもうけていませんが、上記の趣旨に賛同し、自分の行動に責任を持ち、集団行動ができ、バスでの長時間移動をふくむ旅程にたえうる人というのが最低限の前提です。一般の観光旅行ではありません。「お客さま」ではなく主体的な参加者として、真剣かつ虚心に、何かを得ようという姿勢で参加してください。

●現地の気候は？

春は昼夜の寒暖の差が大きく、夜間は零度前後、昼間は20℃前後になることもあります。また、風が強く、黄砂が飛びます。空気は乾燥しています。標高1,000m以上と高度が高いので、紫外線が強いです。



黄土高原と蔚県の位置



2016年は永寧山でマツを植えた。



古い街並を観光資源にしながら、そこで営まれる人びとの暮らし。

★関心をお持ちの方は、まずGEN事務所までお気軽にお問い合わせください。連絡先はこの裏にあります。